

# 資料編

## 1 人 口

## (1) 区別人口等の推移

■人口：93,170人

■世帯数：37,881世帯

(平成24年4月1日現在 推計人口)

- 人口は熊本市の約8分の1を占める。15年間で約7,400人減少している。  
(年間平均約500人減)

行政区	平成7年 (人)	平成12年 (人)	平成17年 (人)	平成22年 (人)	市内に占める割合 平成22年比較(%)	人口密度 (人/km)
中央区	176,494	176,197	177,792	184,353	25.1%	7,241
東区	177,157	183,985	185,959	188,082	25.6%	3,756
<b>西区</b>	<b>101,228</b>	<b>99,730</b>	<b>97,212</b>	<b>93,805</b>	<b>12.8%</b>	<b>1,056</b>
南区	115,058	117,754	<b>121,359</b>	122,600	16.7%	1,116
北区	138,160	143,150	145,656	145,634	19.8%	1,263
合計	708,097	720,816	727,978	734,474	100%	1,885

(国勢調査を基に算出)

- 世帯数は、やや減少の傾向にある。

行政区	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
熊本市	262,600	278,061	288,605	302,413
<b>西区</b>	<b>36,907</b>	<b>38,108</b>	<b>37,973</b>	<b>37,610</b>
市内に占める割合	14.1%	13.7%	13.2%	12.4%

(国勢調査を基に算出)

## (2) 校区別人口の推移

●城山校区以外は、人口が減少している。

校 区	H7⇒H22 の変化	H7年 (人)	H12年 (人)	H17年 (人)	H22年 (人)	H22年 人口密度 (人/km)
芳 野	-13.3%	2,412	2,274	2,282	2,090	90
河 内	-20.5%	5,758	5,405	4,979	4,577	427
城 西	-9.7%	14,003	13,723	13,290	12,647	2,560
花 園	-8.7%	12,474	12,447	12,073	11,390	2,105
池 田	-4.7%	15,048	14,912	14,770	14,346	4,981
古 町	-15.0%	3,664	3,222	3,135	3,114	5,767
春 日	-19.8%	7,195	6,988	6,663	5,772	3,395
白 坪	-4.1%	12,388	12,287	11,691	11,883	5,281
高 橋	-24.4%	635	561	508	480	3,429
城 山	18.9%	8,814	9,470	10,246	10,484	2,432
池 上	-9.7%	7,003	6,668	6,388	6,324	925
松尾東	-11.7%	2,544	2,533	2,409	2,247	459
松尾西	-17.2%	1,400	1,255	1,233	1,159	259
松尾北	-8.0%	251	252	250	231	99
小 島	-9.6%	3,539	3,622	3,337	3,201	644
中 島	-5.9%	4,100	4,111	3,958	3,860	460
合 計	-7.3%	101,228	99,730	97,212	93,805	1,065

(国勢調査による)

## (3) 西区の年齢別人口の推移

●高齢化率はH22年25.3%と5区の中で最も高い状況である。

区 分		H7年	H12年	H17年	H22年	
人 口		人	101,228	99,730	97,212	93,805
年 齢 3 区 分	0～14歳 (年少人口)	人	15,846	14,126	12,856	12,498
	(構成比)	%	15.7	14.2	13.2	13.3
	15～64歳 (生産年齢人口)	人	68,331	65,932	62,324	57,564
	(構成比)	%	67.5	66.1	64.1	61.4
	65歳以上 (老年人口)	人	17,051	19,672	22,032	23,743
	(構成比)	%	16.8	19.7	22.7	25.3

(国勢調査を基に算出)

## 2 面積及び土地利用

### (1) 面積

- 市域面積の約4分の1を占めている。

行政区	面積	市全体に占める割合 (%)
中央区	25.46km <sup>2</sup>	6.5%
東区	50.07km <sup>2</sup>	12.9%
<b>西区</b>	<b>88.80km<sup>2</sup></b>	<b>22.8%</b>
南区	109.86km <sup>2</sup>	28.2%
北区	115.35km <sup>2</sup>	29.6%
合計	389.54km <sup>2</sup>	100.0%

(国土地理院公表値による)

### (2) 土地利用

- 田畑・山林が約7割、宅地は2割弱となっている。



## 3 産 業

### (1) 産業構造

- 西区は第一次産業の割合が高く、農水産業は基幹産業となっている。

区分	第1次	第2次	第3次	分類不能
熊本市	3.4%	16.6%	77.5%	2.4%
<b>西区</b>	<b>9.1%</b>	<b>15.3%</b>	<b>72.8%</b>	<b>2.7%</b>
河内・芳野地区	50.1%	10.0%	37.1%	2.7%
上熊本周辺地区	1.3%	15.4%	80.7%	2.7%
熊本駅周辺地区	0.6%	15.2%	81.5%	2.8%
三和地区	5.6%	16.6%	75.7%	2.1%
西部地区	22.3%	14.1%	60.6%	3.0%

(平成17年国勢調査による)

## (2) 農 業①

### ●熊本市の農業産出額（H22年度（畜産を除く））

西区の産出額は熊本市の約3割を占めている。

特産農産物：果樹（温州みかん、中晩柑、梨、桃）、花き（きく）、野菜

区 分		米	野 菜	果 樹	花 き	麦	その他	合 計
栽 培 面 積 (ha)	熊 本 市	4,750.0	2,287.0	1,968.0	58.8	1,088.0	401.3	10,553.1
	うち西区	527.8	326.5	1,675.6	11.9	7.3	1.7	2,550.8
	割 合	11.1%	14.3%	85.1%	20.2%	0.7%	0.4%	24.2%
産出額 (百万円)	熊 本 市	4,358	21,995	9,019	1,406	85	510	37,373
	うち西区	484	2,767	7,885	285	0.6	8.6	11,430
	割 合	11.1%	12.6%	87.4%	20.2%	0.7%	1.7%	30.6%
栽培1ha当たり 産出額 (千円)		917	9,617	4,583	23,912	78.1	1,271	3,541

(西区産出額は栽培面積割で算出)

## 農 業②

### ●熊本市の野菜産出額（H22年度）

特産野菜：たまねぎ、レンコン、キャベツ、ねぎ、トマトなど

(西区産出額は推計)

区 分		野菜計	な す	すいか	メロン	トマト	レンコン	たまねぎ	ねぎ	キャベツ
栽 培 面 積 (ha)	熊 本 市	2,287.0	166.0	636.0	397.0	73.0	52.0	42.0	43.0	95.0
	うち西区	326.5	10.7	0.4	44.7	21.2	45.0	38.0	16.0	52.7
	割 合	14.3%	6.4%	0.1%	11.3%	29.0%	86.5%	90.5%	37.2%	55.5%
産出額 (百万円)	熊 本 市	21,995	5,983	4,891	3,950	2,210	465	271	268	218
	うち西区	2,767	386	3	445	642	402	245	100	121
	割 合	12.6%	6.4%	0.1%	11.3%	29.0%	86.5%	90.5%	37.2%	55.5%
栽培1ha当たり 産出額 (千円)		9,617	36,042	7,690	9,950	30,274	8,942	6,452	6,233	2,295

(西区産出額は栽培面積割で算出)

### (3) 水産業

- 熊本市の水産物生産額の推移  
のり生産額の約7割を西区が占めている。

種別	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度	
		生産量 (百万枚)	生産額 (百万円)	生産量 (百万枚)	生産額 (百万円)	生産量 (百万枚)	生産額 (百万円)	生産量 (百万枚)	生産額 (百万円)
のり	西 区	474	4,173	410	3,901	410	4,078	417	3,762
	南 区	217	1,874	194	1,834	167	1,792	168	1,554
	生産枚数計	691	6,047	604	5,735	577	5,870	585	5,316
	生産量計	25,922t		22,657t		21,652t		21,952t	
魚 類	162t	82	137t	61	134t	65	全般的に減少傾向、特に貝類（主にあさり）は激減している。		
えび等水産動物	43t	59	54t	80	30t	42			
貝 類	2,661t	1,108	336t	96	228t	40			
合 計 (トン)	28,788t	7,296	23,184t	5,972	22,044t	6,017			

## 4 伝統文化・自然

- 熊本市の文化財、水遺産等の多くが西区に存在している。

区 分	熊本市	うち西区	備 考
■指定文化財の数			
国 指 定 史 跡	10	3	池辺寺跡、千金甲古墳
市 指 定 史 跡	34	18	百梅園跡、釣耕園 等
市 指 定 建 造 物	26	7	小島行在所、成道寺塔 等
市指定民俗文化財	12	4	神楽（平山、白浜、野出、大多尾）
■熊本水遺産の登録件数			
湧 水	45	21	鑪水、延命水、鳴岩の湧水 等

## 5 災害・防災関係

(1) 急傾斜地災害危険箇所（平成24年4月現在）

熊本市372箇所中西区は158箇所（42.5%）

(2) 災害時要援護者数（平成25年1月31日現在）

熊本市 8,697人（プラン完成率 97.6%）

うち西区 1,715人（ // 100.0%）

(3) 自主防災クラブ結成率（H25年2月1日現在） ※結成率は自治会ベースで算出

西区 68.4%（熊本市平均59.4%）

## 6 主要幹線道路の整備状況

●現在予算化し、整備中の路線

番号	路線名	延長(Km)	整備時期	供用目標時期	番号	路線名	延長(Km)	整備時期	供用目標時期
4	国道501号 (河内町河内)	0.8	短期	H28年度	59	新町戸坂線	0.8	中期A	
5	国道501号 (河内町船津)	0.3	短期	H25年度	61	熊本法成寺線 (池田4丁目)	1.0	中期A	
44	熊本西環状線 (砂原四方寄線)	8.7			52	池田町花園線 (花園1丁目)	0.8	中期A	
	花園工区	4.1	短期	H27年度	58	熊本駅城山線	0.6	中期A	
	池上工区	4.6	中期A		73	春日池上線	1.9	中期A	
75	花園インター線	2.1	短期	H27年度	79	上熊本駅西口線	0.5	短期	H28年度
46	池上インター線	1.0	中期A		51	池田町花園線外1線 (島崎6丁目)	0.8	中期A	
7	熊本玉名線 (河内町岳)	1.8	中期A		76	花園池亀線 (花園2丁目)	1.2	中期A	
合計		22.3							

(熊本市道路整備プログラムより抜粋)

一般国道	一般県道	主要地方道	都市計画道路(県道)	都市計画道路(市道)
------	------	-------	------------	------------

※整備時期の「短期は、5年以内に完了するもの」、「中期Aは、概ね10年以内に成果が見えるもの」である。

## 7 観光客の推移

- 西区の主要観光施設を訪れているのは、本市の観光客の1%強となっている。

(単位：人)

施設名	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	平成23年
峠の茶屋公園資料館	15,692	20,261	17,970	15,129	13,277
岩戸観音・五百羅漢	14,874	15,138	16,703	19,453	17,826
島田美術館	4,517	8,206	9,024	5,647	7,723
本妙寺宝物館	1,155	1,674	831	541	536
金峰森の駅みちくさ館	15,910	17,286	14,629	15,679	19,518
西区の主要観光施設計	52,148	62,565	59,157	56,449	58,880
熊本城	1,215,225	2,039,558	1,773,389	1,552,173	1,561,268
うち本丸御殿		1,356,904	1,387,799	1,113,832	1,096,357
フードパル	788,240	877,740	948,600	905,870	843,200
熊本市動植物園	593,944	589,342	681,900	680,705	648,359
熊本市観光客数	4,670,000	5,718,000	5,482,000	5,327,000	5,468,000

## 8 熊本駅、熊本港の乗降客数

- 年間乗降客数の推移

(単位：千人)

駅名等	H10年度	H15年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
熊本駅	8,950	7,984	7,695	7,305	7,543	9,088
うち新幹線					250	4,074
上熊本駅	1,801	1,629	1,749	1,703	1,752	1,687
博多駅(新幹線除く)	71,094	71,102	71,690	70,293	72,193	77,946
鹿児島中央駅	11,077	10,678	12,486	12,536	12,953	14,505
熊本港	1,026	1,063	1,010	891	821	956
入港船舶総屯数(千t)	5,668	7,143	7,115	6,880	6,780	6,718

## 9 区民アンケート結果

■区民3,000人を対象にH24年7月実施。  
回答1,083人（回答率36.1%）

### (1) 西区のイメージ、誇りやシンボルに思うもの、将来のまちについて

順位	イメージ	思う	誇りシンボル	思う	将来のまちについて	願望
1	自然が多いまち	64.9%	金峰山	73.1%	安全で安心して暮らせるまち	55.4%
2	山のあるまち	59.3%	本妙寺	42.0%	自然環境を生かしたまち	53.5%
3	海のあるまち	42.0%	高橋稲荷神社	41.2%	熊本駅や熊本港を生かした賑わいのあるまち	49.0%
4	田園のまち	37.6%	熊本駅	41.0%	高齢者が暮らしやすいまち	48.3%
5	高齢者のまち	30.5%	熊本港	38.9%	健康で安心して暮らせるまち	38.7%
6	史跡のまち	23.8%	みかん	38.8%	みんながいきいきと暮らせるまち	31.7%
7	水と緑のまち	21.7%	有明海	36.1%	子育てしやすいまち	31.1%

### (2) 生活環境で良いまたは悪いと思うこと

順位	生活環境について	良い	生活環境について	悪い
1	自然環境	91.1%	遊びの環境	56.3%
2	生活環境全体	82.2%	スポーツ・レクリエーション	51.3%
3	人情・人間関係	80.9%	公共施設の利用のしやすさ	47.0%
4	風紀・防犯	76.7%	仕事の環境	45.0%
5	教育環境	74.7%	文化的環境	37.0%
6	伝統・歴史の伝承保存	74.1%	買物の便	36.4%
7	火災・自然災害からの安全	71.4%	交通の便	34.0%

### (3) 改善する必要があるもの

順位	生活環境で改善する必要なもの	
1	交通の便	35.0%
2	買物の便	30.2%
3	災害・自然災害からの安全	26.0%
4	公共施設の利用のしやすさ	22.7%
5	衛生環境（排水、ゴミ等）	22.4%
6	医療・福祉	22.3%
7	遊びの環境	18.6%

※生活環境として悪いと感じているものが、必ずしも改善の上位にはなっていない。

#### (4) 寄せられた主な意見について

意見総数：338件

##### ① 振興ビジョン・まちづくりなど全般的事項…………… 72件

- まちづくりの基本は住民一人ひとりの意識を高めることだと思う。周りの人々との関わりを多くすることでまちづくりに繋がる。(中島50代)
- 5区の中で人口が一番少ないが、一番住みよいまちづくりをお願いしたい。(池田30代)
- 西区は地区ごとに生活環境の違う町で成り立っている。各地区の共有する環境に合わせて意見の集約を図ることで、バラエティーに富んだ面白いまちづくりができる。(城西80代)

##### ② 安全安心なまちづくり(防災・福祉・医療等)…………… 48件

- 地震や津波等自然災害に強い安全なまちづくりをしてほしい。(小島80代 他多数)
- 校区の交通量が増えており、広い歩道を整備するなど通学路の安全確保をお願いしたい。(白坪30代)
- 一人暮らしであるが、年をとっても安心して生活できるよう、お願いしたい。(白坪70代 他)

##### ③ 生活環境整備(子育て、生活道路・公園整備等)…………… 67件

- 若者は町を離れ、さみしい町になっている。生活環境を考えなければいけない。(河内50代)
- 子どもたちの未来が心配。贅沢<sup>ぜいたく</sup>ではなく、自然を愛する心を育てるなど子どもの教育に力を入れてほしい。(白坪60代)
- 道路が狭くて離合できないところがあり、緊急時が心配である。(松尾東60代・春日70代 他多数)
- 大きい公園など子どもが外で遊べる場所がほしい。(城西20代・城山20代 他)

##### ④ 幹線道路・公共交通網の整備…………… 57件

- インフラ整備が遅れており、朝夕の交通渋滞がひどい。(池田30代)
- 区役所まで遠い。西回りバイパスを早く完成させ、バスを通してほしい。(池田・花園・城西 多数)
- これからは高齢者が増えるが、移動手段が少ないため活発な動きが取れない。公共交通をもっと充実してほしい。(芳野60代)

**⑤自然環境保全、伝統文化の継承…………… 16件**

- 大自然の中にある西區発展のためには「ふるさとのよさ、ふるさとのぬくもり」を伝えることが大切。そのために高齢化している「ふるさとボランティア」の後継者を養成してほしい。（中島80代）
- 伝統文化や自然を守り、誇りに思える街になればいいと思う。（花園60代）
- 井芹川の美化活動を全体に広げてはどうだろう。（池上70代）

**⑥産業振興、賑わい創出（農水産業・商業・観光）…………… 52件**

- 西區は海や山に囲まれた自然豊かな地域なので、農林水産業の第1次産業に力を入れ、特に農林業の後継者を育てるためにも適切な資金援助等により活性化してほしいと思う。（城西70代）
- 遊べる場所がたくさんあると良いと思う。商業施設や子どもが遊べる公園など。（春日30代）
- シンボリックな（観光名所等）各所はもっと整備が必要。また、歴史を踏まえ、把握できるようなパンフレット（アクセス等）みたいなものがあつたらいい。（古町60代）

**⑦熊本駅・熊本港の利活用…………… 26件**

- 熊本の玄関口となる熊本駅があるのだから、これを中心に観光客をもっと歓迎するような街づくりをしてもらいたい。また、駅周辺の雰囲気も含めて、活気が足りないように感じる。（春日30代）
- 熊本駅周辺の商業施設をもっと作ってほしい。（城西20代）
- せっかく港ができて活用ができていない。もう少し施設等を増やしても良いのではないか。（池上40代）

## 10 次世代との意見交換会での結果

■参加者：西区内の中学生14名、高校生10名、大学生8名  
(中学生、高校生、大学生単位で実施)

■内容：西区に在住する若者を対象に、西区の良さや課題、地域とのかかわり、まちの将来、具体的アイデアなどについて意見交換を行った。

### ●主な意見

#### (1) 振興ビジョン策定に参考となるもの

- 西区だからこそみたいなものが一つあると、それを核にしていろいろできる。
- 地域とずっとつながっていたいと思う。それを実現できるのだったら、ぜひ、自分で協力できることがあればしたい。
- 地元には高齢者がたくさんおられ、登校中とかよく「あいさつ」してくれる。その仲の良さがずっと続けばいいなと思う。
- その他に、「子どもが増えるといい。」「自然や、地元特有の産業はなくなってほしくない。」「伝統・文化はなくなってほしくない。」「他の県や国の人に訪れてほしい。」などの意見があった。

#### (2) 若者が考える地域の課題

- 老人ホームの祭に招待され演奏を行ったが、そういう場がないと地域やお年寄りにかかわる機会がない。
- 町や地域・PTA等が催しをされるが、学生が意見を言える感じではない。
- 水遺産とか川、竹林が整備されていない。
- 朝から学校周り、駅前の清掃活動をするが、タバコの吸殻やゴミが散乱している。
- 山に近く駅やバス停まですごく遠い、近くにバス停があればいい。
- 産婦人科にかかりたくとも近くに病院がないので、公共交通機関での移動は揺れてきつい。子どもを産む環境があまり良くない。
- 田舎で近くにコンビニとかない、買い物に不便。
- 道が狭く高齢者が歩くには、大型トラックが通ったりするので危険である。
- その他「熊本駅周辺の賑わいが足りない。」「西区は勤めを探すには難しい。」などの意見があった。

### (3) 若者が考える地域の資源

---

- 熊本港の近くなので、のりとか米とかレンコンとかを栽培している家が多いので、おいしいものを食べることができる。
- 西区は海や山があり、環境的には熊本県全体を考慮することができる。
- 田崎近辺は、市場や電気屋さんとか娯楽施設などができ、だいぶん賑わっている。
- 中学校の近くには公園がたくさんあり、小さい子どもとかは遊べて、すごくいい。
- 池上はお年寄りの方とかとの交流が多くて、学校から帰ってくる途中にすれ違ったりしたら、「お帰り」と言ってくれる方も多い。
- 東京に行ったときに、強く感じたのが、熊本はやっぱり住みやすいなということ。特に西区は。自分の住んでいる所が一番落ち着く。
- 「ホタル祭り」など地元のお祭りがすごく盛んで面白い。
- 高橋稲荷の初午は全国から参拝客が来て、ものすごい人出になる。
- 住んでいる翹川の上流は見晴らしもよくて、あまり騒がしくない。ちょっと降りればスーパーもあるしコンビニもあるし「住みやすいね」と言われた。

### (4) 具体的な方策・アイデア

---

#### ①人が交流する仕かけ（ソフト面）

- 学生や地域の人たちも集まれるカフェ（場所）があればいい。

#### ②区対抗スポーツ大会

- 子どもたちが広場で遊べるようにしたいというがあるので、区の代表が出て野球大会をやってみる。

#### ③あいさつ

- 「こんにちは」とかのあいさつを高校生ぐらいになったらしない。ちゃんとあいさつをすれば防犯にもなるのでは。

#### ④人が交流するしかけ（若者の地域活動への参加を促進）

- 小学校のお祭りに毎年ボランティアをしているが、学生に限らず働いていても来てくれる人もいるので、もう少し呼びかけたら、もっと参加してくれると思う。
- 地域活動への協力について、やってもいいなと思うが、忙しいので付きっきりは無理かもしれないが、例えばそういうイベントで行事をするときに、「こんなのはどう？」と意見を言える場があったら、そういうのであれば参加してもいい。
- 学生の立場としては、一緒に行く人、知っている人がいないと参加しにくい。友達同士のつながりを保っているのが、グループで参加するように呼びかけた方が入りやすい。

#### ⑤地域住民皆が集える場所

- 子ども文化会館のようなものを駅の近くに造る。
- 小さい子たちだけじゃないんで、若い人たちにもこっちに来たいなという、イベントとかを増やしていけたらいい。

#### ⑥駅周辺の賑わいづくり

- 駅から見て若者たちが集まると言ったら、やっぱりショッピングモールとか、そんなところだと思うので、駅から出てすぐ目に付く所に、若者の人たちの興味を引くような建物があればいいと思う。

#### ⑦地域で支えあう仕組みをつくる

- 交通の便を公共で補うのは難しいにしても、せめて、自治会内に2台ぐらいマイクロバスのようなものがあるって、使いたいときに家々を回り病院まで連れていってくれるような、その車をみんなで使うということにすると、地域のつながりもできると思う。
- やっぱり身近なことからどんどん始めていくために、僕たちから始めたいと思う。草取りとか。ゴミ拾いなど。

#### ⑧広報活動

- 皆があまり知らない情報をフリーペーパーなどで紹介していければ、見に行きたいという人が増え、来る人も増えると思う。それを高校生でやってみるというのもいいのではないか。一度、高校生で上通の商店街の紹介をフリーペーパーで実際に出したこともある。
- ミカンの花見学ツアーとか、その辺りをうまく広げていけば、ファンが増えると思う。

## 11 西区まちづくりビジョンの策定経緯

西区まちづくりビジョンは、策定懇話会や区民へのアンケート調査、次世代を担う中学生、高校生、大学生との意見交換会や地域での集まりで区民の皆さんに意見をいただき、その内容を反映させながら、策定を行いました。

### 1 西区振興ビジョン策定懇話会

#### (1)策定懇話会のメンバー（19人）

学識経験者、自治協議会連絡会議からの推薦者、農業・漁業関係者、高齢福祉関係者、文化関係者、ボランティア関係者、婦人会関係者、まちづくり関係者、事業者、報道関係者 等

#### (2)策定懇話会開催

- ①「第1回策定懇話会」 平成24年6月22日(金) 午前10時
  - ・西区振興ビジョン策定の趣旨について
  - ・西区振興ビジョンの位置づけについて
  - ・検討会、懇話会の進め方について
  - ・スケジュールについて・西区の概要について
  - ・アンケート、意見交換会の実施について
- ②「第2回策定懇話会」 平成24年10月12日(金) 午前10時
  - ・アンケート調査等の結果等について
  - ・次世代との意見交換会の報告について
  - ・西区振興ビジョン骨子（案）について
- ③「第3回策定懇話会」 平成24年11月30日(金) 午後1時半
  - ・西区振興ビジョン（素案）について
- ④「第4回策定懇話会」 平成25年2月19日(火) 午前10時
  - ・パブリックコメント等の結果について
  - ・西区振興ビジョン（案）について
  - ・西区まちづくり懇話会（案）について
  - ・平成25年度のまちづくり事業について

## 2 区民アンケート

- ・実施時期：平成24年7月10日から7月25日まで
- ・調査対象者：満18歳以上の西区民 3,000人  
(住民基本台帳より無作為抽出)
- ・有効回収数等：1,083人 (回収率36.1%)
- ・調査方法：郵送による配布・回収

## 3 中学生・高校生・大学生との意見交換会

### (1)中学生

日時：平成24年7月8月17日(金) 午前9時半

参加者：花稜中学校、西山中学校、三和中学校、城西中学校、井芹中学校、芳野中学校、河内中学校 各2名 (計14名)

### (2)高校生

日時：平成24年8月6日(月) 午後1時半

参加者：熊本西高校、千原台高校 各5名 (計10名)

### (3)大学生

①日時：平成24年8月18日(土) 午前9時半

参加者：県立大学 (2名)、九州ルーテル学院大学 (1名)

②日時：平成24年9月12日(水) 午前10時

参加者：崇城大学 (5名)

## 4 市政リレーシンポジウム in 西区

日時：平成24年9月30日(日) 午後1時半 参加者数：150名

### ①基調講演

テーマ：みんなが元気 まちも元気！西区の健康まちづくり

講師：河村 洋子 氏 (熊本大学 政策創造研究教育センター准教授)

### ②パネルディスカッション

テーマ：「西区の特徴(魅力)を活かしたまちづくり」

コーディネーター：永松 俊雄 氏 (崇城大学 地域共創センター教授)

パネリスト：河村 洋子 氏 (熊本大学 政策創造研究教育センター准教授)

増藤 敏子 氏 (熊本市地域婦人会連絡協議会会員)

境 長一郎 氏 (本妙寺桜灯籠実行委員会事務局長)

永田 剛毅 (西区長)

## 5 西区振興ビジョン（骨子案）の地域説明会及び意見交換会

各校区の校区自治協議会の役員の方々を対象に骨子案の説明会を開催し、意見交換を行いました。

主な対象校区	開催日	参加者数
河内・芳野校区	平成24年10月26日(金)	29名
城西・花園・池田校区	平成24年10月29日(月)	32名
高橋・池上・城山校区	平成24年10月30日(火)	22名
松尾東・松尾西・松尾北・小島・中島校区	平成24年11月6日(火)	28名
春日・古町・白坪校区	平成24年11月7日(水)	26名

## 6 パブリックコメント

西区振興ビジョン（素案）及び西区まちづくり懇話会（案）について、広く市民の皆さんから意見をいただき施策に反映させるために、パブリックコメントを5区併せて実施しました。

### (1)期間

期間：平成25年1月10日～平成25年2月12日

### (2)意見提出数

#### ①西区振興ビジョン（素案）に対するご意見

ご意見を提出された方の人数 5名

ご意見の件数（まとめりごと） 17件

#### ②まちづくり懇話会（案）に対するご意見

ご意見を提出された方の人数 3名

ご意見の件数（まとめりごと） 6件

## 7 西区振興ビジョン（素案）の地域説明会及び意見交換会

パブリックコメント実施期間中に、西区民の方全てを対象に素案の説明会を開催し、意見交換を行いました。

主な対象校区	開催日	参加者数
城西・花園・池田校区	平成25年1月17日(木)	42名
古町・春日・白坪校区	平成25年1月18日(金)	27名
高橋・池上・城山校区	平成25年1月22日(火)	24名
松尾東・松尾西・松尾北・小島・中島校区	平成25年1月24日(木)	15名
芳野・河内校区	平成25年1月29日(火)	44名

## 12 用語解説 (五十音順)

用 語	説 明	ページ
幹線道路	都市の骨格をなす道路で広域交流を支え都市域内を連絡する主要な道路をいう。	P.5
協働	同じ目的のために、それぞれが対等な立場に立ち、役割と責任を担い、協力すること。	P.1
熊本市第6次総合計画	総合的・計画的な市政運営及び市民活動の指針として平成21年3月に策定され、目標年次を平成30年度とした熊本市の施策・計画などの基本となる上位計画。	P.1
熊本水遺産	熊本市の水と風土と文化を後世に伝えるため、市民共有の財産として市が登録しているもの。湧水、食、土木建築、祭り、風習など有形・無形を問わず、熊本市の水に関係するものであれば登録の対象とされる。	P.5
公共交通網	路線バス、鉄道、路面電車など不特定の人々を大量、かつ、効率的に運ぶことのできる交通手段が網の目のように通じている形態	P.5
高齢化率	人口に占める65歳以上の高齢者の割合。	P.5
コミュニティ	日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験をとおして生み出されるお互いの連帯感や共同意識と信頼関係を築きながら、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で自主的に住みよくしていく地域社会。	P.4
重要港湾	港湾法に基づく港湾の種類の一つ。国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾	P.6
少子高齢化	少子化と高齢化が同時に進行している状況	P.4
第1次産業	農業・林業・漁業。	P.3
第2次産業	鉱業・建設業・製造業	P.3
第3次産業	第1次産業、第2次産業以外の産業。電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されないもの）、分類不能の産業。	P.3

用語	説明	ページ
第2次熊本市都市マスタープラン	平成13年に都市計画法（18条の2）に基づく都市計画に関する主に土地利用や都市整備の方向性などの基本的な方針を示す都市マスタープランを、昨今の社会情勢の変化などを踏まえて改訂したもの。	P.1
都市空間デザイン	“都市空間”は、主に行政が整備・維持管理する道路・公園・河川等と、地権者や民間事業者等が建築する建築物等で構成され、住民・民間事業者・行政が連携してまちづくりを進めていくもので、“デザイン”は、都市空間の表層の色彩・形態・材質だけを対象とするのではなく、施設などの配置までも対象とし、これにより、利用者にとって判りやすく、安全で、快適な都市空間が形成されること。	P.8
都市計画道路	都市の健全な発展と機能的な都市活動を確保するため、都市計画法で定められた道路。	P.5
パブリックコメント	市の計画、条例、規則、制度等の素案、選択肢、論点等を施策の立案過程において広く公表し、市民が多様な意見、情報、専門的知識等（以下「意見等」という。）を提案し、又は提供する機会を設け、市民から提出された意見等を考慮して計画等の検討を行うとともに、検討結果についても広く公表する一連の手続。	P.29
要援護者	災害時において、安全な場所に避難する際に支援を要する人のこと。	P.5
臨港地区	臨港地区とは、都市計画法に定める地域地区のひとつで、港湾の管理運営を円滑に行うため、港湾区域(水域)に隣接する指定された陸域のこと。	P.6

## 西区まちづくりビジョン

---

発行：平成25年3月  
発行者：熊本市西区役所総務企画課  
〒861-5292  
熊本市西区小島2丁目7番1号  
TEL096-329-1142

---

